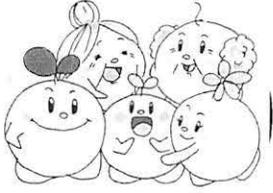




社会福祉法人 鶴田町社会福祉協議会

ふれあいネットワーク



幸せの種まき運動事業
イメージキャラクター

ふれあいひろば

福祉教育講座スタート!



思いやりの心を育み、お互いに連携し助け合う力を養うために・・・

5月24日(木)県立鶴田高等学校で福祉教育講座を開催しました。内容は、『手話を楽しく学ぼう』・『車椅子を体験しよう』・『高齢者を体験しよう』の3つの講座を受講しました。『手話』を学ぶ講座では、西北五ろうあ協会の皆さんの指導により聴覚障がい者の理解を深め、コミュニケーション手段の方法を体験していました。

こういった活動を通して、『福祉』に対する関心や興味が深まり、『福祉の心』が着実に育っています。

今後、町内の全小中学校で福祉講座をスタートする予定です!

発行

〒038-3503 青森県北津軽郡鶴田町大字鶴田字沖津193
○編集と発行 鶴田町社会福祉協議会 TEL. 22-3394・FAX. 22-6322
○印 刷 (有)ブリジック



この広報は、赤い羽根共同募金の配分金によって発行しています。

社協会費 納入の お願い

社会福祉協議会は、町民の皆様が安心して暮らせる福祉のまちづくりをめざし、活動を進める民間の福祉団体（社会福祉法人）です。

その運営は、町民の皆様からの『社協会費』をはじめ、寄付金や県・町からの補助金、委託料等でまかなわれています。

社協会費は地域福祉推進事業の活動費として使用されており、町民皆様方の善意に支えられております。

今年度も、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

個人会費 1世帯 1,000円

(町内の全世帯にお願いしております)

※町内会を通して『会費納入ねがい書』を持参してお宅へお願いに伺います。

(町内会費からまとめて納入している地域もあります。)

期間

平成24年6月1日から7日31日まで

団体会費 1団体 5,000円

(各種団体、金融機関、福祉施設等にも
お願いしております)

※7月上旬に事務局がお願いに伺います。

皆様からお寄せいただいた会費は、事業計画に基づき活用させていただきます。

在宅福祉サービス事業

- ※配食サービス
- ※1人暮らし老人昼食会
- ※福祉機器レンタル
- ※社会福祉大会



地域福祉推進事業費

- ※幸せの種まき運動事業
- ※ほのほの交流協力員事業



社協会費納入に
ご協力を
お願いします！



障害者福祉事業

地域活動支援センター
「鶴花塾」

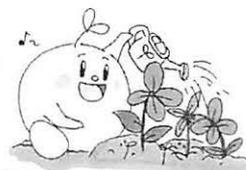


ボランティア活動費

- ※しゃぼん玉グループ
誕生日訪問ボランティア
- ※ボランティア研修

地域福祉課業務紹介

～地域のみなさんがともに協力しながら
ふれあい、ささえあい、たすけあいの心で
安心して暮らせる地域づくりを支援する課です～



地域福祉課長 西村仁美

☆地域支援係☆

- 幸せの種まき運動（各地区開催）
- 地区座談会の開催（小学校区で開催）
- 配食サービス（ボランティアが調理したお弁当を民生委員がお届けします）
- 一人暮らし老人昼食会（毎月1回開催。季節に応じたさまざまな行事を開催し、閉じこもりを予防します）
- 福祉安心電話事業
- 火災報知器給付事業
- 福祉教育講座（町内各小・中・高校対象）
- ボランティア活動の推進（さまざまなボランティア活動の支援）

☆地域包括支援センター☆

- 介護予防業務全般（要支援の方の支援）
- 総合相談支援事業（介護生活等窓口相談）
- ニコニコ教室（いつまでも元気であるための予防教室：各地区2回開催）
- 介護者のつどい（介護教室：年2回）
- 日常生活自立支援事業・成年後見事業（日常生活に不安のある方の、大切な書類・通帳等をお預かりして、安心して暮らせるために支援します）

福祉の担い手

☆未来のスターたち☆

今月号は、平成23年
5月生まれのお子さんです。



5月13日生

駅東町
渋谷 ^{わかば} 若葉ちゃん

「元気にすくすく育ってね♥」

幸せの種まき人

小野 初枝さん

（富士見町）

今月号から、鶴田町に住む方を幸せにするために貢献している方をご紹介します。

その名も、「幸せの種まき人」です。

第1回目は、ボランティアの先駆者といえばこの方です！！

経歴

- 大正10年8月27日 生まれ
- 昭和14年4月1日 青森県庁商工課観光係勤務（女性初）
- 昭和57年7月1日 在宅要介護者入浴介助をスタート
- 平成11年10月31日 青森県知事表彰 受賞
- 平成17年10月29日 厚生労働大臣表賞（ボランティア功労）
- 平成18年11月3日 緑綬褒章受章（永年ボランティア功労）



質問：今年でボランティア活動を始めて30年経ちますが、ボランティアを始めたきっかけは何ですか？

答え：母子寡婦福祉会に入会していて、病院に入院している方のお洗濯をしてあげる活動をしていました。そこから鶴松園ができた時、訪問入浴のお手伝いをすることになりました。

質問：活動を長く続けていける秘訣は何ですか？

答え：ボランティアをしているという意識がまったくありません。自分が誰かのお役に立っている事が嬉しいのと、たくさんの方とお話するのがとても楽しいの。

質問：今後は、どのような活動を行っていきますか？

答え：今は、「しゃぼん玉グループ」で75歳以上の1人暮らしの方に、誕生日プレゼントとして鶴花塾のお花を差し上げる活動をしています。長年一緒に活動している仲間達と会えることが今、一番楽しみです。

まちがいさがし



2つの絵から、
5か所のまちがい
を見つけて下さい。

※正解者の中から抽選し10名に
粗品を贈ります。
※締切 6月15日消印

※3月号当選者 北谷慎之介※奥瀬 希羽※竹浪 勅佑※坂本 裕子※瓜田 佳穂
 渋谷まり子※神成 秀子※三浦亜香音※須藤 律子※三浦 優子
 ※宛先 〒038-3503 鶴田町字沖津193 鶴田町社会福祉協議会

平成24年度 ボランティア保険申込受付中

～ボランティア活動中や行事開催中の
事故によるケガや賠償事故を補償します～

※下記の表は、一部を抜粋したものです。
詳しくは、社協までお問い合わせください。

6月 行事予定

- 4日(月) ※身体障害者福祉会会員研修会
※手をつなぐ親の会会員研修
- 5日(火) ※水道修繕点検ボランティア
- 10日(日) ※登録ボランティア研修会(秋田市)
- 14日(木) ※ほほえみ弁当お届けサービス
※北津軽郡社会福祉協議会定時総会
- 19日(火) ※丹頂の集い(鶴遊館)
- 20日(水) ※広報委員会
- 28日(木) ※シルバー人材センター総会

保険の種類	最低保険料	補償金額	補償期間
活動保険 グループでも個人でも申込OK	基本タイプ Aプラン 年間 1人 280円 その他、天災タイプもあります。	Aプラン (入院保険金 日額) 1,400万円 (通院保険金 日額) 4,100万円	H24 4/1～ H25 3/31 ※途中加入の場合は 受付日翌日～H25 3/31
行事用保険 地域福祉活動(華せの種まき運動)やボランティア活動の一環として行う各種行事が対象	Aプラン(A1行事) 1日 1人あたり 28円 ※最低20名より	参加者本人のケガ (入院保険 日額) 3,500円 (通院保険 日額) 2,200円	行事開催期間中のみ

絆

五月と七月には、同級生の命日がある。仲間達は墓前に花を添え、線香をあげた後に酒を飲む。故人の家を訪れることはせず、お墓で故人を偲ぶ。この行為そのものが良いのか悪いのかはよく分からないう。ただ、故人を純粹に偲ぶという思いからの行為である。

先日、故人の妹が孫を抱きながらお酒をつまみを持ってお墓にやってきました。「毎年、兄のためにありがとう」。肌寒く、そろそろ帰ろうかと思っていた矢先に来てくれたので、心がほっと温まった。ご迷惑なのではと思いつつも毎年続けていることが、少し認められたように思い、ありがたかった。

三十歳で亡くなった友人のことをを思い、一生けやぐ(友達)でいようという趣旨から「一生会(いつきかい)」という会が結成された。同期会や友人の里帰りなどがあれば、この会が中心となって交流の場を演出する。

先日、津軽富士見湖桜まつりの前夜祭で私達の先輩である「川村ゆうこ」さんのコンサートが国際交流会館で行われた。「前売り券は発行するんだが」「はやぐいがねば、席とれねんでねべが」と心配する同級生達。吉田拓郎や井上陽水の時代に育った私達にとって、大興奮の一夜となった。けやぐ(友達)の絆は深まるばかりだった。(A)